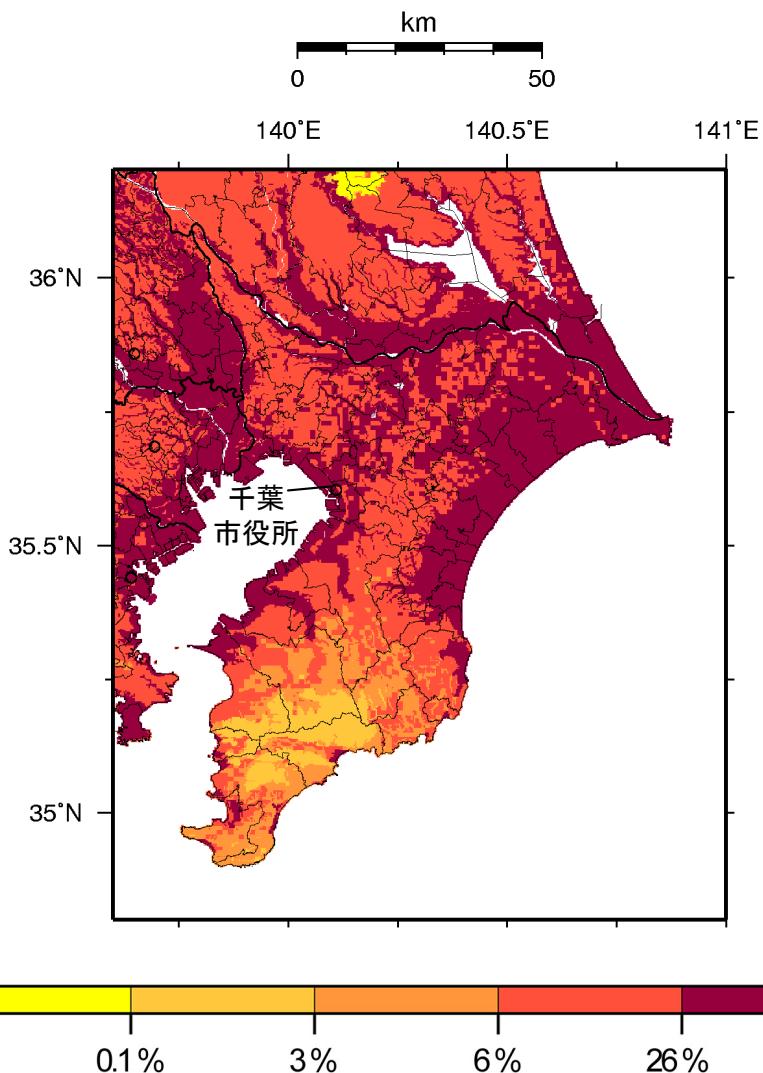
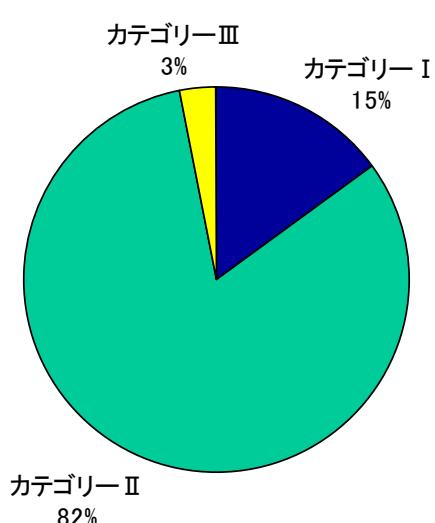


# 千葉県



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）



## 地図概況

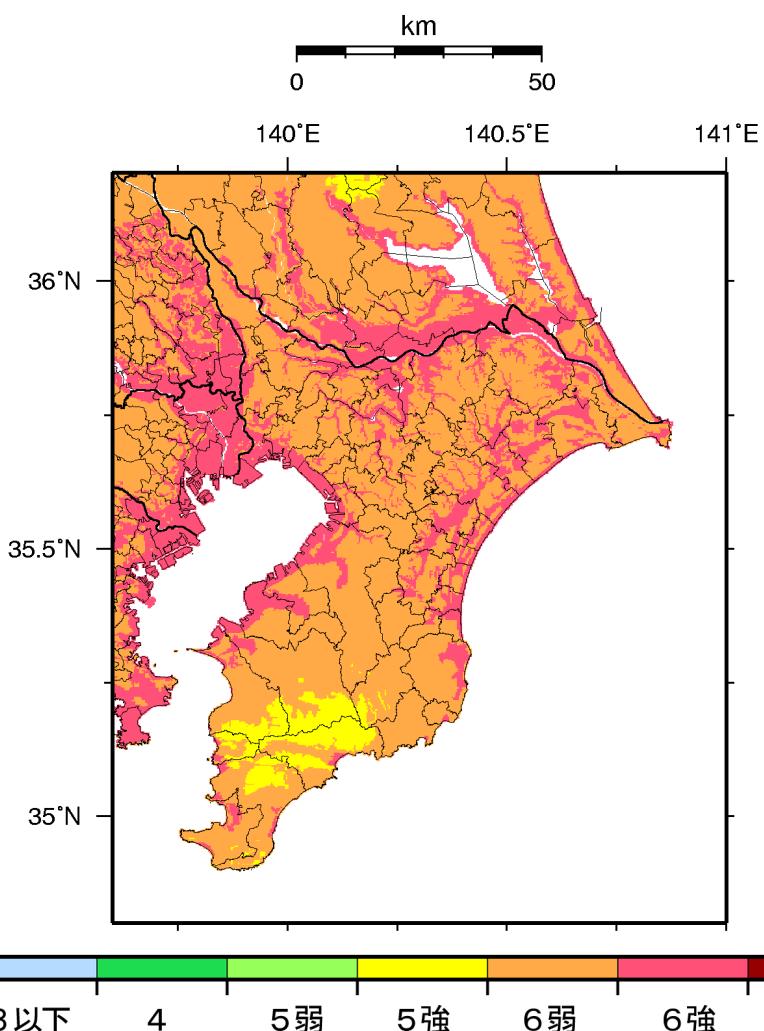
南部の房総丘陵に比べると、その他の地域、特に沿岸低地や埋立地、河川・沼地沿いでは、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

千葉市役所：高い。

カテゴリーⅡの地震の影響度が最も高くなっています。南関東で発生するマグニチュード7程度の地震や、沈み込む太平洋プレート内の震源を予め特定しにくい地震によると考えられます。南海トラフの地震（カテゴリーⅠ）の影響も見られます。

カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震  
カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震  
カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

千葉市役所の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



今後30年間にその値以上の揺れに見舞われる確率が3%となる震度

